

2-10 木質バイオマス広域利用モデル形成事業

事業目的

林内に放置されている未利用間伐材等の搬出を促進し、化石燃料の代替とすることでCO₂排出抑制を進めるとともに、地域の森林由来の木質バイオマスを活用した資源循環型社会形成の取組を拡大し、森林資源の有効利用と地域産業の活性化に貢献します。

事業効果

CO₂削減効果

10,217 t-CO₂/年

事業内容

- 地域の森林由来の木質バイオマスを燃料に利用する取組を支援！
- 未利用間伐材等の安定供給を支援！

1 木質バイオマス利用ネットワーク会議

【概要】 木材生産団体や木質バイオマス利用を進める市町村等を構成員とする会議を開催し、相互の情報共有や需給マッチング等を行い、地域における森林由来の木質バイオマス利用を推進します。

【事業主体】 県 【事業費 (H29)】 300千円

2 未利用バイオマス搬出支援

【概要】 未利用間伐材等の搬出経費を支援

- ① 針葉樹林地残材搬出支援
- ② 未利用広葉樹搬出支援

【実施主体】 林業事業者等

【事業費 (H29)】 ①15,750千円 ②4,500千円

【事業量 (H28)】 ①10,500m³ ②4,500m³

【補助率】 定額 (①1,500円/m³ ②1,000円/m³)

3 木質バイオマスボイラー導入支援

【概要】 木質バイオマスボイラーの導入を支援

【実施主体】 農業・林産事業者、NPO等

【事業費 (H29)】 7,500千円

【事業量 (H29)】 1施設程度

【補助率】 1/2以内 上限額 7,500千円/施設

4 木質バイオマス利用地域モデル支援

【概要】 森林由来の木質バイオマスの利用普及に取り組むモデル地域での木質バイオマスストーブ(ペレット、薪)購入を支援

【実施主体】 モデル地域内の個人、団体等

【事業費 (H29)】 1,500千円

【事業量 (H29)】 3地域程度 (15台)

【補助率】 1/2以内 上限額 100千円/台



現 状

●スギ林の間伐等で発生した形質不良木や根元部・梢端・枝葉などは、収集運搬等に経費を要するため、未利用のまま放置されています。

林地の未利用材の搬出を促し、地域のエネルギーとして有効利用

税導入後のイメージ



(木質ペレット)



(木質チップ)



地域で燃料に加工することで、地域の雇用と経済循環を創出

間伐推進によるCO₂吸収アップや化石燃料等の代替でCO₂排出抑制